

各障害者支援施設管理者 殿

東京都福祉局障害者施策推進部
施設サービス支援課長 鹿内 弘 実
(公印省略)

施設における誤嚥^{えん}、窒息等による事故防止対策の徹底について（通知）

平素から東京都の障害者福祉施策の推進に御理解、御協力いただき、ありがとうございます。

各施設・事業所における事故等防止対策の徹底については、「施設・事業所における事故等防止対策の徹底について」（令和 5 年 5 月 9 日付 5 福保障施第 320 号 東京都福祉保健局障害者施策推進部長通知。以下「事故防止通知」という。）によりお願いしているところであり、日頃から利用者に対する安全の確保や、施設の管理体制の徹底等に取り組まれていることと存じます。

しかし、今年度に入り、誤嚥や窒息等による事故報告が多数寄せられる状況となっております。

こうした事故を未然に防止するには、各施設において、日々変化する利用者の状態を適切に把握し支援に活かすとともにリスクマネジメント体制の整備などの取組が大変重要となります。

つきましては、各施設において、以下のような事項について改めて点検・確認いただき、施設の事故防止体制の見直しをお願いいたします。

なお、事故発生時の対応につきましては、事故防止通知を御確認いただきますよう、お願いいたします。

記

1 適切なアセスメントと個別支援計画等への反映

- 誤嚥・窒息による重大事故の要因には、高齢化、虚弱化による嚥下機能の低下に加え、利用者の障害特性による掻き込み、詰め込み等が多く見られるところです。そうした利用者の状況の変化や特性を的確に捉え、食事介助の方法や食形態の変更、支援方法や見守り体制の見直しなどに適時反映させることが重大事故の防止につながります。
- 医療職や栄養士などを交えた多職種によるアセスメントを行うなどにより、利用者の障害特性や状態像の変化が的確に把握されているか、アセスメントで得られた結果を個別支援計画や支援マニュアル等に反映して、職員間で共有化されているか、今一

度見直しをお願いします。

2 職員の日々の気付きを活かす取組

- 誤嚥・窒息による重大事故は、通常の食事場面だけでなく、おやつ、行事食、盗食によるものも発生しており、居室など食堂以外の場所でも発生しています。また、原因となる食べ物には、パンや焼き菓子などが多く見られます。
- 施設における様々な支援場面に潜在するリスクや課題を把握し、重大事故を未然に防止するため、日々の支援を通じた職員の気付きを、リスクの把握や対策の検討に活かすことが重要です。

リスクマネジメント委員会等によるヒヤリハットの収集、集計、分析を積極的に実施することなどにより、職員の気付きを事故防止対策の検討に活かし、その結果を職員間で共有・実行し、必要に応じて見直すという一連の仕組みが整備されているか、実際に機能しているか、改めて点検をお願いします。

3 緊急時対応の確認

- 誤嚥・窒息による重大事故においては、事故の発生から心肺停止等生命にかかわる重篤な症状に至るまでの時間が数分間と極めて短くなっています。
- 夜間など支援員の配置が最も少ない時間帯における事故の発生も想定した、応援要請、応急手当、救急要請などの緊急時対応の一連の手順について再確認の上、マニュアル等を整備し、職員に周知するとともに、実践的な訓練等を繰り返し実施することで、全ての職員が実際の事故発生時に的確な対応がとれるよう取組をお願いします。

【問い合わせ先】

東京都福祉局障害者施策推進部
施設サービス支援課障害者支援施設担当
電話 03 - 5320 - 4156
FAX 03 - 5388 - 1407